

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 あたたかい土地の暮らし—沖縄島—（6時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解する。 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現する。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「国土の気候の特色」 日本のつゆ、台風、季節風にはどのような特色があるのか調べ、グループごと図絵などを用いて発表し、日本の気候の特色をまとめた。

働かせる見方・考え方：地形や気候などに着目して、その土地の自然環境の特色とその地域の人々の生活を関連付けるこ

段階	□学習問題（時間）	留意点
課題把握	1 東京と沖縄の様子はどのようにちがうのだろう。（1）	<p>気付きや疑問から問いを設定する場面</p> <p>☞図や写真、統計資料から気づいたことを出し合う場を設け、気付きを問いへとつなげ単元の学習問題を設定する。</p>
	単元の学習問題：沖縄の人々はあたたかい気候をどのように暮らしや産業にいかしているのだろうか。	
課題追究	2 なぜ沖縄県ではさとうきびが盛んに栽培されているのだろう。（1）	<p>出会った事実から解決の見通しをもつ場面</p> <p>☞さとうきびや菊の栽培、観光業が盛んなことを知る場面を設け、視点や方法を明確にした追究の見通しをもてるようにし、子どもと学習計画を立てる。</p>
	3 なぜ沖縄県では菊が盛んに栽培されているのだろう。（1）	<p>課題の解決に向けて調べる場面1・2</p> <p>☞気候に合った作物を育てていることに気付くことができるように、さとうきびの特徴がわかる資料や菊の年間出荷数のグラフを示し、読み取る場を設ける。</p>
	4 なぜ沖縄県では観光業が盛んなのだろう。（1）	<p>課題の解決に向けて調べる場面3</p> <p>☞気候や自然環境と観光業の関係に気付くことができるように、観光地の画像や観光客数の変化のグラフを示し、読み取る場を設ける。</p>
課題解決（まとめる）	5 沖縄県の人々は気候をどのように生かして生活しているのだろう。（1）	<p>新たな問いについて追究する場面</p> <p>☞気候や自然が産業にかかわっていることを踏まえ、自然や文化が昔から継承されてきている事実を示し、新たな問いを位置付ける。</p>
	6 沖縄県の文化や自然はどのようにして守られてきているのだろう。（1）	<p>学習を振り返る場面</p> <p>☞単元の学習問題に対する自分の答えをまとめる場を設ける。</p> <p>☞自分の地域との違いも踏まえ、沖縄の人々の暮らしは気候の特色とかかわっていることについて理解できるようにする。</p>
<p>【ねらいを達成した子どもの姿】</p> <p>沖縄の人々は、台風が多いことや冬の時期でもあたたかい気候を生かして、さとうきびや菊の栽培などを行い、豊かな自然は観光客の増加にもつながっている。また、沖縄は古くからアジアの国々との交流で豊かな文化を育ててきた。つまり、沖縄特有の気候や自然を生かして産業を行い、自然や文化を大切にしながら生活している。気候の違いはあるが、自然や文化を生かし守る姿は私たちの地域と共通している。</p>		

次単元へのつながり：

日本の食糧生産について調べ、食糧生産の概要を捉え、生産額と自然条件などを関連付けて考える。